

地域水田の担い手の育成と経営の安定化

活動期間: 令和2年度

○ 取組の背景

- ・掛川南部地域の水田は、担い手の高齢化により離農の加速が懸念されている。水田面積823haのうち、農地集積により396ha(48%)を担う集落営農組織等の主要6法人も構成員の高齢化が進んでいる。
- ・米の消費量の減少による米価低迷から水田経営への影響が懸念されている。

○ 課題・目標

- ・掛川南部地域水田を担う集落営農組織等の再編、連携により担い手、設備を確保。
- ・裏作野菜等の複合作物の導入や水稻栽培の省力、低コスト化による経営の安定化。

普及指導員の活動

○ 推進方向1 「担い手の確保に向けた掛川南部集落営農組織等の連携推進」

■ 掛川南部集落営農組織等の再編、連携支援(令和2年度)

6月12日 ・掛川南部水稻協議会 設立総会

7月～11日 ・実態調査

掛川市: 地域内生産者の規模別年齢構成

中遠農林: 主要6法人の経営状況と方針

12月8日 ・情報交換会

地区代表生産者による生産者の経営や状況報告
実態調査結果報告、基盤整備事業の状況説明
意見交換



情報交換会の様子

○ 推進方向2 「水田経営体の野菜生産の推進」

■ キャベツ生産機械化一貫体系実証圃の設置、調査、栽培指導(平成30～令和2年度)

生産者、農協(栽培計画)、経済連(労賃負担、機械等のレンタル、販売)と連携して実施

■ 中遠稲作研究会(47名)の視察研修

H30.8月 水田キャベツ生産圃場にてサブソイラー、スタブルカルチ施行の実演会(袋井市)

R 1.7月 大規模露地野菜経営者の講話・視察(磐田市)

R 2.2月 大規模複合経営体視察(滋賀県)

○ 推進方向3 「水稻栽培の省力、低コスト化の推進」

■ 水稻省力栽培技術の導入、普及

・直播栽培の普及 巡回指導、収量調査、意見交換(～令和元年度)

・水管理システムの活用実証 6名、80箇所設置(令和2年度)

・ドローンによる追肥、農薬散布の実証(令和2年度)



キャベツ栽培水田スタブルカルチ実演会



露地野菜経営体の視察



大規模複合経営体の視察

○「掛川南部水稲協議会」

■実態調査、意見交換により問題意識の共有が図られた。

予想：高齢化により地域農業者の離農が加速

主要6法人の状況(課題)

主要6法人	396ha
その他継続見込経営体、団地	129ha
継続が見込まれない団地	41ha
3ha以上、60歳以上の経営体	123ha
3ha未満	134ha
計	823ha

《今後予測》
請負水田
+298ha
発生

どこまで
請負えるか？

高齢化	構成員の高齢化が進む
人材確保	一般企業の退職年齢延長や再雇用により、人材確保が困難 若者を雇用する給与、費用の確保
設備投資	経営の維持、拡大に向けた設備投資資金の確保

■今後は地域水田農業の方向性や主要6法人の課題解決による体質強化に向けて検討を行う。

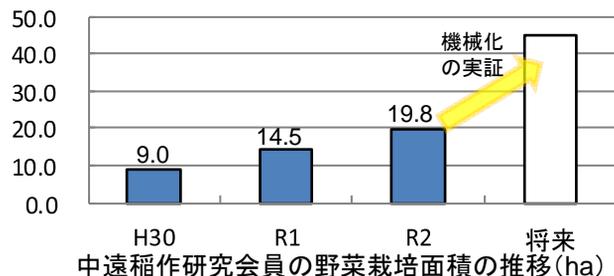
○「野菜生産の推進」

■キャベツ生産機械化一貫体系実証圃の設置

■中遠稲作研究会員の野菜栽培導入

キャベツ実証圃の実績

	面積(a)	収量(t)	(t/10a)
H30 水田跡	15	1.2	0.8
牧草地跡	10	4.2	4.2
R1 牧草地跡	30	8.6	2.9
R2 牧草地跡	100		



定植の精度とかん水、排水対策、雑草管理

目標 5~7 t / 10 a

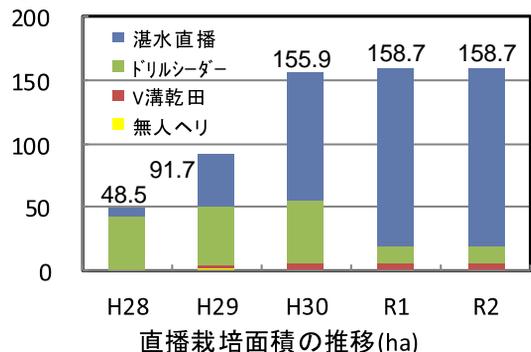
中遠稲研野菜栽培品目と面積 (R2年度)
キャベツ11.3、ハネギ1.3、カンショ(干芋)0.8、ニンジン0.8、シロネギ0.7、パレイシヨ0.5、その他4.4



○「省力化技術の普及」

■直播栽培技術の普及(～令和元年度)

■水管理システムの活用実証(令和2年度)



・水路の詰まり、生物の開けた穴による漏水や、水位センサーのトラブルが多く、点検が必要であった。
・排水は手動 ⇒ それほど省力にならなかった。

↳ 老朽化した用排水施設の整備や排水の自動化が必要。

■ドローン追肥、農薬散布の実証(令和2年度)

・追肥や農薬散布の省力化、適期処理が可能。
・温暖化による生育後半の窒素不足に対し、ドローンによる追肥を実施し、収量や品質の向上を検討中。

↳ 実証試験を継続、再度実証する。



直播の様子



水管理システム



ドローン散布の様子